

感染症情報 7月21日～27日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	680例(堺市	29例)
②伝染性紅斑	433例(堺市	38例)
③ヘルパンギーナ	400例(堺市	23例)
④溶連菌感染症	208例(堺市	28例)
⑤手足口病	152例(堺市	7例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ	26例(堺市	2例)
---------	--------	-----

報告数による順位。前週比12.0%減の2,191件。感染性胃腸炎は府下で前週から19%減、堺市で前週50例→今回29例。伝染性紅斑が府下で2%増、堺市で前週26例→今回38例。ヘルパンギーナが府下で増減なし、堺市で前週15例→今回23例であった。溶連菌感染症が府下で33%減、堺市で前週42例→今回28例。手足口病が府下で8%減、堺市で前週11例→今回7例。

インフルエンザが府下で前週53例→今回26例は51%減。堺市で前週・今回とも2例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で72例→55例は24%減、堺市は3例→4例であった。今年入ってからの府内の累積報告数は2,213例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症	957例(堺市	87例)	
大阪府定点	3.29	堺市定点	3.48

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で33%増(5週連続増)、定点当たり2.47→3.29。堺市は67例→87例で30%増、定点当たり2.68→3.48は大阪府ブロック別でワースト3位であった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症	9,547例(堺市	936例)	
大阪府定点	32.81	堺市定点	37.44

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より14%減、定点当たり38.23→32.81、堺市で983例→936例は前回より5%減、定点当たり39.32→37.44であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。